

建設防災委員会記録

- | | |
|------------|------------------------------|
| 1. 会議の日時 | 令和7年12月1日（月）午前10時0分～午前11時58分 |
| 2. 会議の場所 | 第2委員会室 |
| 3. 会議の議事 | 下記のとおり |
| 4. 出席委員の氏名 | 下記のとおり |

協議事項

（危機管理局）

1. 報 告 神戸市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について
（消防局）

1. 第99号議案 灘消防署庁舎建設工事請負契約締結の件

2. 第100号議案 物品取得の件（消防救急デジタル車載無線機）
（建設局）

1. 予算第23号議案 令和7年度神戸市一般会計補正予算（関係分）

2. 予算第25号議案 令和7年度神戸市駐車場事業費補正予算

3. 第91号議案 指定管理者の指定の件（神戸市立三宮駐車場ほか）

4. 第97号議案 都市計画道路須磨多聞線（西須磨）整備事業に伴う跨線部の上部工架設工事及び設計業務に係る変更基本協定締結の件

5. 陳情第165号 神戸総合運動公園・補助競技場及びしあわせの村・多目的運動広場の運用の適正化に関する陳情

6. 報 告 「神戸市みどりの基本計画」の改定（案）について

7. 報 告 「神戸市みちづくり計画」の改定（案）について

8. 報 告 「市立自転車駐車場のあり方検討委員会」の中間報告

9. 報 告 工事請負契約の締結について

出席委員（欠は欠席委員）

委員長 平 野 達 司

副委員長 か じ 幸 夫

委 員	なんの ゆうこ	香 川 真 二	上 原 みなみ	うえなか美貴子
	細 谷 典 功	朝 倉 えつ子	住本 かずのり	高 瀬 勝 也
	坊 やすなが			

議 事

（午前10時0分開会）

○委員長（平野達司） おはようございます。ただいまから建設防災委員会を開会いたします。

本日は、11月27日の本会議で本委員会に付託されました議案の審査のほか、陳情の審査及び報告の聴取のため、お集まりいただいた次第でございます。

最初に委員の定席についてであります。会派構成の変更に伴い、お手元に配付しております定席表のとおりにいたしましたので、御了承をお願いいたします。

次に、写真撮影についてお諮りいたします。

自由民主党さん、日本維新の会さん、公明党さん及びつなぐさんから、本委員会の模様を写真撮影したい旨の申出がありますので、許可したいと存じますが、御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（平野達司） 御異議ございませんので、許可することに決定いたしました。

次に、本日は水道局の審査の予定はありませんので、所管事項に関して御質疑がなければ待機を解除したいと存じますが、いかがでしょうか。

（なし）

○委員長（平野達司） よろしいですね。特にないようでございますので、水道局の待機を解除いたしますから御了承をお願いいたします。

それでは次に、陳情者から口頭陳述の申出がありましたので、陳情第165号について建設局審査の冒頭に口頭陳述の聴取をしたいと存じますが、御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（平野達司） それでは、さよう決定いたしました。

それでは、これより順次各局の審査を行います。

（危機管理局）

○委員長（平野達司） これより危機管理局関係の審査を行います。

なお、審査の都合上、本日は健康局職員も同席しております。

それでは、報告事項1件について当局の報告を求めます。

局長。

○上山危機管理監兼危機管理局長 危機管理監兼危機管理局長の上山でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（平野達司） 着席されたままで結構でございます。

○上山危機管理監兼危機管理局長 それでは、お手元の建設防災委員会資料により、報告1件について御説明申し上げます。

以後、着座にて御説明させていただきます。

資料の1ページを御覧ください。

神戸市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について御報告申し上げます。

1. 神戸市新型インフルエンザ等対策行動計画改定の経緯でございます。

まず(1)改定の経緯ですが、当該市行動計画につきましては、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、平成26年6月に策定したものでございます。その後の新型コロナウイルス感染

症への対応等を踏まえ、政府行動計画が令和6年7月に改定され、これを受け、兵庫県において令和7年3月に県行動計画が改定されました。

本市においても、新型コロナウイルス感染症対策については対応検証結果報告を行っており、これを踏まえ先月、市行動計画を改定いたしました。

また、改定に当たっては、（２）有識者会議を開催したほか、（３）市民意見募集等を実施しております。

２．改定のポイントでございますが、（１）政府行動計画及び県行動計画に基づく全国一律の改定といたしまして、新型コロナウイルスや新型インフルエンザ、それら以外の呼吸器感染症も想定した幅広い感染症対策とし、対策項目ごとに準備期・初動期・対応期の各段階に分けて記載するほか、対策項目を６項目から１３項目へと拡充しております。

また、（２）本市における改定対応として、①政府行動計画及び県行動計画を踏まえ本市の対応内容を記載したことや、②神戸市新型コロナウイルス感染症対策対応検証結果報告の内容を反映しております。

２ページ以降に市行動計画の内容を記載しておりますので、後ほど御覧ください。

以上、報告１件につきまして御説明申し上げます。何とぞ御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○委員長（平野達司） 当局の報告は終わりました。

これより質疑を行います。

まず最初に、報告事項、神戸市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定についてに関して御質疑はございませんでしょうか。

○委員（朝倉えつ子） これを出されるに当たって、資料の１ページですね、目次の次のところにも書いてあります。コロナウイルス感染症対策対応検証結果報告、この内容を反映しているというふうにあるんですけども、やっぱりコロナの教訓というのは、一番の問題は医療の体制や保健所検査体制の脆弱さにあったというふうに思うんです。医療へのアクセスがどうだったのか、救急搬送する先がなく死亡される例も出たということで、本当にそのこと自体が大幅に感染症が増えて医療の逼迫が起こったということなんですけども、適切な必要な医療が受けられない事態というのをどう防ぐために、今回の行動計画でも、どういうところにそれを盛り込んでいるのかというのをちょっとお聞きしたいんですが。

○楠健康局保健所長 今回の行動計画の改定の中におきましては、保健所等の人材育成や人員体制を強化するというのを盛り込んでおります。

具体的には、人材育成に関しましては、神戸市保健所としましては、保健所・保健センターの職員や神戸市を支援可能地域として登録するＩＨＥＡＴ要員ですね——このＩＨＥＡＴというのは感染症に特化した専門職の方ですけども、その方の登録の人数を増やすとか、その職員の研修や訓練を強化するというところに取り組んでおります。

また、具体的には、訓練に関しましては保健所職員やＩＨＥＡＴ職員全員が年１回以上研修訓練に参加できるよう、年４回の研修訓練を実施するとか、年４回のうちの１回は実践型の訓練を行うというようなことを取り組んでおります。

また、人員体制におきましては、本市では保健師３００名体制を維持し、健康危機の際には迅速かつ機動的に対応できる体制を構築しており、有事におきましても健康局内の応援派遣要請を行うとともに、全庁挙げた応援体制、また神戸市看護大学を中心とした市内大学の応援体制等を行

って、保健所における感染症の有事対策を確立するとともに、検査におきましても健康科学研究所の体制を強化して速やかに検査体制を立ち上げるということを行っております。

○委員（朝倉えつ子） 保健所の体制については本当に駄目だということで保健師さんも増やされたということは私も理解しているんですけど、医療の現場のやっぱり逼迫というのは医療体制についても神戸市としてこういう考えで臨むという立場、関係部局と危機管理、健康局、いろんなところと連携してこれ書かれてると思うんですけど、その辺をきちんと危機管理局としても求めるし、健康局としても医療体制の強化をどういうふうに図っていくのかというのを——いろんな人材育成だけでは駄目で、体制を本当に増やしていくという立場でどういうふうにやるのかというのを盛り込んで、この行動計画をつくるべきだと思うんですけども、その点はいかがでしょうか。

○楠健康局保健所長 医療体制ですけれども、これは準備期におきましては、現在も行ってるんですけども、感染症対策向上加算1の医療機関が20あるんですけども、その医療機関と医師会・歯科医師会・薬剤師会等が参加する神戸市新型インフルエンザ等対策病院連絡会議、これを年3回定期的に開催して情報交換等を行うことにより、発生時のスムーズな医療体制の構築につなげることを行っております。

また、有事におきましても医療機関・消防機関等と連携して入院調整に係る体制構築を進めて、準備期において相談、受診から入退院までの流れを迅速に整備することと、また感染初期段階におきましては、第1種感染症指定医療機関等において得られたエビデンスや対応方法を先ほどの神戸市新型インフルエンザ等対策病院連絡会議等を活用して各医療機関に伝え、協力要請を行うこととしております。

○委員（朝倉えつ子） あまりあれですけど、年3回いろいろ医師会とも話し合いをされてると。そういう中でどういう議論がされているのか、ちょっと私分らないですけども、国が本当に今やろうとしているのは医療費4兆円削減して11万床ベッドを減らすと。神戸市でも北区の済生会と三田病院と統合・移転をして100床以上ベッドを減らすということを、そういう計画をやろうとしているわけですね。保健所の体制も保健師さんを増やしたんだったら、本来であればもともと行政区に1つずつあった保健所に戻すとか、やっぱりそういう体制強化が私は必要だと思うんですけども、それもなかなかやらないというところで、医療やそういう検査の体制を後退させるような、国も挙げてやろうとしてる中で、行動計画を一生懸命つくっても、なかなかやることが違っていたら、これがきちんと実のあるものになるのかなという懸念があるんですけど、その点はいかがでしょうか。

○楠健康局保健所長 今回のコロナの経験を踏まえまして、やはり保健所の体制強化と同時に、平時から医療関係者との密な情報共有が非常に重要であると認識しております。次の新たな感染症に備えて現在いろいろ訓練・研修を準備しているところでありますので、それによって対応してまいりたいというふうに考えております。

○委員（朝倉えつ子） なので、行動計画を体制強化と——医療の体制確保といろいろ書いてますよ。それに見合ったやっぱり体制強化が必要で、実際もそのようになるようにやっぱり国にもきちんと物言うし、神戸市や兵庫県としても連携しながら、本当に新たな感染症の下で医療体制がまた逼迫するようなことがないように、必要な支援策維持・拡充をする方向で医療や保健所の体制強化を求めたいと思います。政策の転換をやっぱり求めていきたいというふうに述べておきます。

○委員長（平野達司） 他にございますでしょうか。

（なし）

○委員長（平野達司） それでは次に、この際、危機管理局の所管事項について御質疑はございませんでしょうか。

（なし）

○委員長（平野達司） 他に御質疑がなければ、危機管理局関係の審査はこの程度にとどめたいと存じます。

当局、どうも御苦労さまでした。

委員の皆様申し上げます。

この際、次の消防局が入室するまでの間、暫時休憩いたします。

なお、当局が入室後、委員の皆様がそろい次第再開いたしたいと存じますので、御了承をお願いします。

（午前10時12分休憩）

（午前10時15分再開）

（消防局）

○委員長（平野達司） それでは、ただいまから建設防災委員会を再開いたします。

これより消防局関係の審査を行います。

それでは、議案2件について一括して当局の説明を求めます。（「起立、礼、直れ、着席。」の声あり）

局長。

○栗岡消防局長 消防局長の栗岡でございます。失礼して着座にて説明させていただきます。よろしく願いいたします。

○委員長（平野達司） 着席されたままで結構でございます。

○栗岡消防局長 それでは、議案2件につきまして御説明申し上げます。

お手元の委員会資料2ページを御覧ください。

第99号議案灘消防署庁舎建設工事請負契約締結の件につきまして御説明申し上げます。

3ページを御覧ください。

本議案は灘消防署庁舎建設工事請負契約を締結しようとするものでございます。

請負金額は23億5,290万円で大豊・ニッケみらい特定建設工事共同企業体と仮契約中でございます。

4ページには工事概要、5ページから7ページには付近見取図・配置図・完成予想図、8ページには入札結果を添付しておりますので、後ほど御覧ください。

9ページを御覧ください。

第100号議案物品取得の件（消防救急デジタル車載無線機）につきまして御説明申し上げます。

10ページを御覧ください。

本議案は消防救急活動用物品として消防救急デジタル車載無線機を買い入れようとするものでございます。

買入れ価格は6,930万円で、沖電気工業株式会社と仮契約中でございます。

11ページには調達概要、12ページには入札結果を添付しておりますので、後ほど御覧ください。

以上で議案2件の説明を終わらせていただきます。何とぞよろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○委員長（平野達司） 当局の説明は終わりました。

これより質疑を行います。

まず最初に、第99号議案灘消防署庁舎建設工事請負契約締結の件について御質疑はございませんでしょうか。

（なし）

○委員長（平野達司） よろしいですか。

それでは次に、第100号議案物品取得の件（消防救急デジタル車載無線機）について御質疑はございませんでしょうか。

（なし）

○委員長（平野達司） それでは次に、この際、消防局の所管事項について御質疑はございませんでしょうか。

○委員（香川真二） よろしくお願ひします。

最近テレビとかでもニュースで火事の報道が増えてまして、今日も朝、ワイドショーとかでも火事の特集やってて、かなり12月に入って乾燥してるということで、火事なんかをやっぱり注意しないといけない時期になってきたなと思ってんですけど、先月、大分に行く機会がありまして、大分でも11月の中旬ぐらいにかなり大規模な火災が起きて、その辺の話も少し聞くことができたんです。

やっぱり神戸でもね——大分の火災であれば、あれは道路が狭かったりとか、住宅が密集してるというふうな話もあったんですけど、神戸でも同じような地域はあるんじゃないかということと、そういった火災等が起こったときの対応への対策みたいなのは、やっぱりしっかりと考えておかないといけないと思っております、こういう機会なので、ぜひそういう対応をどういうふうに考えているのか、教えていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

○栗岡消防局長 火災の多発といいますか、12月に入って増えてきておりますし、先ほど香川先生おっしゃいました大分県の佐賀関で大規模な市街地の大火が発生をいたしまして、非常に乾燥した中で風が吹いたりをして大規模な火災になったというふうに報道されておりますけれども、香川先生御指摘ありましたように神戸市内におきましても、やはり木造の住戸が密集しておる、また道路でありますとか公園、こういった公共用の空地が少ない部分、そういったところが市内にも幾つかありまして、都市局を中心に4か所ほど指定をされておまして、灘北部でありますとか、兵庫でありますとか、あと長田の南部、それから垂水ですかね、4か所ほど指定をされてございます。

そこにつきましては、古い建物の除却といいますか、できるだけ空地を増やしていくということが都市局のほうを中心に進められておりますけれども、我々の消防につきましても、火災の危険性というのが——過去を振り返りますと、直近でいいますと例えば平成29年には糸魚川で大火がございましたし、また阪神・淡路も我々経験をしてございますので、火災対策というのは極めて重要であるというふうに認識をしております。

やはり、そこでは火災を起こさないような形の取組がまず重要ではないかというふうに思っております、住民の方にしっかりと火を使うときにはその場を離れないというような火災のいわゆる予防啓発、こういったものをしてございますし、また火災が万が一発生をした場合にも早く

気づいて逃げていただく、そのための住宅用の火災警報器もしっかりとつけていただくように指導しておりますし、また10年経過しますと機能的に不備もあるというようなことも言われておりますので、そういった更新の指導もやってございます。

また、火災が発生したときに、できるだけ地域の住民でも皆さんで消火活動であるとか避難訓練、そういったものも含めて、できるだけ住民の皆さんで高い意識を持ってお互いが助け合えるようなそういう訓練指導も我々のほうで指導させていただいているところでございます。

また、火災が発生しますと、消防車が出動するわけなんですけれども、やはり水が出ませんと消火できませんので、消防用の水利ですけれども、消火栓でありますとか防火水槽、こういったものも充足させるように震災後も充実に取り組んできておりますので、おおむね先ほど申し上げました地域につきましては、他の地域と大きな遜色はないような状況であるというふうに認識をしているところでございます。

また、火災が発生した場合に我々が消防車で出動するわけなんですけれども、これ一般の建物の火災が発生した場合は消防車・救急車合わせて10台が出動するわけなんですけれども、少し木造が密集しているような地域につきましては、13台ということで消防車の数を3台多く追加をしております、消火活動でありますとか救助活動がより強化した形での対応ができるような消火体制というのを取ってございます。

また、先ほど先生から細い道路というようなこともございましたけれども、神戸市の道路につきましては、やっぱり細い道もありますので、大きな消防車じゃなくて小型の消防車両というのを導入してございまして、小型といいましても2トンシャーシぐらいの大きさにはなりますけれども、そういった形で小さい消防車で細い道であったとしても進入することができるよう体制というのも取っております。

またあわせまして、そういう木造の密集しているような地域につきましては、消防職員が火災が発生をしていないときに調査をいたしまして、どこにどういう消火栓があるのかであるとか、どういう建物があるのかということを事前に調査した防御計画書というのをつくってございまして、火災が発生したときには活用して被害を最小限にとどめていこうということで対応のほうを進めておるところでございます。

今回そういった大分市の火災が発生したことも踏まえまして、改めてそういう対応の再確認のほうをしっかりとやっていきたいというふうに思っているところでございます。

以上でございます。

ちょっと1点、糸魚川の火災、29年と申し上げましたが、28年に訂正させていただきます。

以上です。

○委員（香川真二） 対応されてるということで安心しました。

大分の方と話をしたときに、やっぱり火事の話をするとかかなり何というんですかね、沈み込んだような雰囲気になって、やっぱり喪失感というんですかね、そういうふうなのは、やっぱり実際にそういう被害を受けた方たちにはかなり重くのしかかるんだなと思ってます。

やっぱりそういう火事を起こさないことと、あと被害を大きくしないことというのは対応が大事だと思うんですけど、大分の話聞いたところで、避難をするのに地域の福祉施設の送迎車等を使って避難された方の話も聞かせていただいて、やっぱり初期の段階でいくと地域の力がかなり重要なんだなと思いました。

日頃から——先ほど局長も言われてましたけど、地域の皆さんの意識を高めるということなん

ですけど、やっぱり自分事なんですけど、やっぱり自分の周りは火事起こらないかなとか、自分の家は大丈夫かなというふうなそういった気持ちになってしまうんですけど、日頃からそういう意識を高めていくということと、いざとなったときのそういった地域の方たちの団結力とか、あと対応力みたいなのは日頃からやっておかないと、ふだんから皆さんいろいろ関わっていただいている消防団の方の力も大事だと思いますし、そういう消防に関わっていない方の地域の力も大事だと思いますので、地道な活動にはなるとは思いますが、今後どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○委員長（平野達司） 他にございますでしょうか。

（なし）

○委員長（平野達司） 他に御質疑がなければ、消防局関係の審査はこの程度にとどめたいと存じます。

当局、どうも御苦労さまでした。（「起立、礼、直れ。」の声あり）

委員の皆様申し上げます。

この際、次の建設局が入室するまでの間、暫時休憩いたします。

なお、当局が入室後、委員の皆様がそろい次第再開いたしたいと存じますので、御了承お願いいたします。

（午前10時26分休憩）

（午前10時29分再開）

（建設局）

○委員長（平野達司） ただいまから建設防災委員会を再開いたします。

これより建設局関係の審査を行います。

まず、口頭陳述の聴取に入りますが、この際、陳述人に申し上げます。陳述の際は、最初にお住まいの区と氏名をおっしゃっていただき、内容を御要約の上、5分以内に陳述を終えるようによろしくお願いいたします。

それでは、陳情第165号について口頭陳述の聴取をいたします。

陳述人の今中さん、発言席へどうぞ。

それでは、5分以内でお願いいたします。

○陳情者 須磨区の今中一寿と申します。

まず、ユニバーグラウンドゴルフ同好会について説明をいたします。

平成30年4月にグラウンドゴルフ大会を開催することを目的に立ち上げ、現在では会員が230名にも及ぶ組織になりました。年間70回程度の大会開催を通じて、高齢者の健康寿命の促進と認知症予防を目的にした活動をしております。

本日御審議いただきたい事項は、神戸総合運動公園・補助競技場及びしあわせの村・多目的運動広場の芝生のグラウンドの運用の在り方についてでございます。

陳情事項は2つであります。

第1点目は、一般市民が利用できる一般公募枠を少なくとも1週間に1回ないしは2回に拡大していただきたくお願いをいたします。

これらの施設の利用は、芝生の養生を理由に年間の利用日数が半分にも満たない状況にあります。芝生の養生の必要性は認めますが、その養生に6か月も要するとは到底思えないのでありま

す。

兵庫県所有のアオノグラウンド・ゴルフ場は年間の稼働日数が280日程度のようにございます。これとの比較では実に100日も差がございます。利用日全体の拡大を御検討いただきたいのであります。

それが不可能であれば、優先枠と一般公募枠のバランスを考えていただきたい。特別の団体に優先的に利用を認め、一般市民には年間に両施設とも10日前後より利用させないような運営は見直すべきであると考えます。

特にミズノ株式会社主催のサッカー教室は週に2回の利用を認めるなど、特別な扱いがされていますが、この特別枠の一部を一般公募枠に振り替えるなどの措置を講じていただきたいとお願いする次第でございます。

陳情の第2点目は、優先枠の選定が明確な基準がなく極めて恣意的な運用がされているように思われるので、是正をお願いいたします。

グラウンドゴルフ大会に関しての運用の実態をお示ししますと、優先確保のできる団体は既に提出の陳情書に記載の7つの団体が主でございます。施設の安定的な運用のためには、このような優先枠を設けることは必要だと思いますので、ぜひ継続していただきたいとは思いますが、しかし市議員後援会や営利企業であるミズノ株式会社などが含まれていることには、いささか違和感がございます。これらの団体の優先枠をお認めになるのであれば、任意団体であっても会則等を定め、総会を開き、会計報告をきっちりに行っているような団体には優先枠を認めていただきたいのであります。

優先枠の基準の明確化と公正な運用をぜひともお願いをいたします。

せっかくの機会でもございますので、私の国家公務員40年の経験を踏まえて神戸市政の在り方について少し意見を述べさせていただきます。

私は大阪国税局、大阪府及び兵庫県下の税務署に勤務いたしました。この40年の間に税金は取られるものから納めるものへと大きく国民の意識は変換をいたしました。それは大蔵省、現在の財務省が国民の協力を求める施策を推進したことにはほかならないのであります。

具体的には青色申告や小学生対象の租税教育の推進などに努めました。中でも小学生に納税の義務を教えることは極めて重要なことであります。

兵庫税務署管内は全ての小学校がこの租税教育を実施しております。大変自慢をするようで恐縮でございますが、私が兵庫税務署長のときに小学校の校長会に赴き、これをお願いして出来上がりました。

何を申し上げたいのか。それは……

○委員長（平野達司） 陳述人に申し上げます。既に時間が経過しておりますので、簡潔におまとめください。

○陳情者 神戸市では——もう終わります——市民の力をもう少し借りようとされてはいかがでしょうかと申し上げたいのであります。

最後に、高齢者が残りの人生を健康でありたいとの願いで行っておりますグラウンドゴルフにどうか御理解と御支援をいただきますようお願い申し上げまして、私の陳情を終わります。ありがとうございました。

○委員長（平野達司） どうも御苦労さまでした。

それでは、議案4件、陳情1件及び報告事項4件について一括して当局の説明、報告を求めま

す。

原局長、着席されたままで結構でございます。

○**原建設局長** それでは委員会資料により、議案４件、陳情１件、報告４件につきまして御説明を申し上げます。

委員会資料の２ページを御覧ください。

Ⅰ 予算第23号議案令和７年度神戸市一般会計補正予算のうち建設局関係分につきまして御説明を申し上げます。

以下、計数につきましては100万円未満を省略させていただきます。

１ 繰越明許費でございますが、最下段、一般会計合計欄のとおり１億6,000万円を工程調整等のため、令和８年度に明許繰越をしようとするものでございます。

２ 債務負担行為でございますが、道路改良につきましては、令和７年度から８年度までの期間において限度額２億600万円を、街路築造につきましては、令和７年度から９年度までの期間において限度額21億5,000万円を設定しようとするものでございます。

続きまして、３ページを御覧ください。

Ⅱ 予算第25号議案令和７年度神戸市駐車場事業費補正予算につきまして御説明を申し上げます。

１ 繰越明許費について、１億4,500万円を工程調整等のため、令和８年度に明許繰越をしようとするものでございます。

２ 債務負担行為でございますが、指定管理（鈴蘭台駐車場ほか）につきましては、令和７年度から12年度までの期間において限度額３億2,100万円を設定しようとするものでございます。

続きまして、４ページを御覧ください。

Ⅲ 第91号議案指定管理者の指定の件（神戸市立三宮駐車場ほか）につきまして御説明を申し上げます。

６ページの参考資料を御覧ください。

１． 公の施設の名称、指定管理者でございます。

指定を行う施設は、三宮駐車場から細田駐車場までの10施設でございます。

指定管理は三宮・花隈・神戸駅南・湊川公園・荒田公園・新長田駅前・細田駐車場は神戸電鉄グループ・タイムズグループ共同事業体を、舞子駅前駐車場はタイムズ・南海ビル共同事業体を、鈴蘭台・長田北町駐車場は国際ライフパートナー株式会社を指定しようとするものでございます。

７ページに参りまして、２． 指定期間は令和８年４月１日から令和13年３月31日でございます。

市営駐車場におきましては、これまでは使用料金制による指定管理運営を行っていましたが、今回の公募より利用料金制を導入いたします。

使用料金制は、料金収入は市の収入となり、料金収受を指定管理者が代行し、必要経費として市が委託料を支払う制度です。対して利用料金制は、料金収入は指定管理者の収入となり、市に納付金を納める制度です。なお、収入より必要経費が上回る施設は不足分を指定管理料として市が指定管理者に支払いをいたします。

以上を踏まえ、３． 債務負担行為、４． 協定予定額を御覧ください。

債務負担行為の限度額は３億2,100万円でございます。また、協定予定額につきましては、納付金として６駐車場で24億9,700万円、８ページに参りまして、指定管理料として４駐車場で３億2,000万円でございます。

６． 選定理由につきましては、各応募団体から提案された事業計画に基づき評価を行い、最も

高得点の団体を指定管理者候補者として選定をいたしました。なお、和田岬駅前駐車場につきましては、応募者がありませんでしたので、現在再公募を行っております。

9 ページには 7. 主な提案内容を、10 ページから 13 ページには 8. 評価項目・評価結果を、14 ページには 9. 応募団体を、15 ページには 10. 施設概要を記載しておりますので御参照ください。続きまして、16 ページを御覧ください。

IV 第 97 号議案都市計画道路須磨多聞線（西須磨）整備事業に伴う跨線部の上部工架設工事及び設計業務に係る変更基本協定締結の件につきまして御説明を申し上げます。

本件は、都市計画道路須磨多聞線（西須磨）において、山陽電車の跨線部に係る上部工架設工事及び設計業務を山陽電気鉄道株式会社に委託するもので、令和 5 年 8 月 4 日に当初基本協定を締結いたしました。その後、山陽電気鉄道株式会社との協議により、当初想定した施工計画が変更となったことなどから、変更基本協定を締結しようとするものでございます。

協定金額 6 億 2,641 万 3,000 円で山陽電気鉄道株式会社と仮契約中でございます。

続きまして、陳情 1 件について、お手元の陳情文書表を御覧ください。

陳情第 165 号神戸総合運動公園・補助競技場及びしあわせの村・多目的運動広場の運用の適正化に関する陳情につきまして御説明を申し上げます。

神戸総合運動公園のユニバー記念競技場及び補助競技場は本市を代表するスポーツ拠点として、陸上競技・サッカー・ラグビーの大規模な競技会等に利用をされています。また、しあわせの村の多目的運動広場は全天候型のトラックと天然芝フィールドを備えた競技場で、陸上競技やサッカーなどに加え、グラウンドゴルフの大会や練習等に幅広く利用されています。

陳情項目 1 についてですが、神戸総合運動公園補助競技場及びしあわせの村多目的運動広場の芝生フィールドにおいては、芝生の養生は最小限の期間としています。

また、両施設においては市民の健康増進、生きがいくりの支援、施設の活性化を目的としたスポーツ教室やイベントを実施しており、補助競技場では本市が指定管理者に対し実施を義務づけた市民向けスポーツプログラムとして、指定管理者の構成員であるミズノスポーツサービス株式会社がサッカースクールを開催しています。

このように、両施設では芝生の良好な状態を維持しつつ、競技会の開催や市民向けのスポーツ教室・イベントでの利用を中心とした運営を行っています。

今後、多目的運動広場において芝生フィールドの供用日数を試行的に増やすことにより、一般市民の利用日を拡大するなど、両施設における利用日を可能な限り確保をいたします。

次に、陳情項目 2 についてですが、補助競技場及び多目的運動広場の利用手続については、神戸市都市公園条例施行規則及び本市の基準に定めています。

大規模な行事や指定管理者が実施する市民向けのスポーツ教室等、一定の要件を満たす利用については、特別利用として、一般利用の受付に先立ち優先的に利用受付を行っています。

具体的には、県大会や全市的な競技会等で利用する場合については、前年度の秋頃に神戸市立主要スポーツ施設利用促進委員会にて調整を行い、利用団体を確定しています。また、市民参加の大会や地元住民の行事等で利用する場合は、利用月の 3 か月前までに利用受付を行い、利用団体を確定しています。

なお、市議員後援会等、本市の基準に定める特別利用の要件を満たさない団体については、優先的に利用受付を行っている事例はございません。

本件陳情事項である一般利用の申込みについては、利用月の 2 か月前に受付を行い、抽選の

上、利用者を決定しています。

このように、施設を利用する大会参加者や市民の皆様が施設をできる限り有効に活用されるよう、本市として施設の利用手続に関する基準を明確に定め、公正な運用を行っています。

以上で陳情 1 件についての御説明を終わります。

続きまして、委員会資料の18ページを御覧ください。

V 報告「神戸市みどりの基本計画」の改定（案）について御説明申し上げます。

1. 計画改定の趣旨でございますが、神戸市みどりの基本計画は、都市緑地法に基づく計画であり、市の上位計画である神戸市総合基本計画のみどりに関する部門別計画として、基本理念やみどりの将来像などを示しております。このたび現在の計画が目標年次を迎えたことから、社会経済情勢の変化等を反映した上で改定を行うものでございます。

2. 目標年次につきましては、2050年でございます。

3. 改定の概要でございますが、本計画は基本理念や将来像等を示した本編と詳細な施策等を示した施策編の2部で構成しております。

基本理念としては、現計画の理念を受け継ぎ、緑とともに生き続ける都市＝緑生都市としています。

みどりの将来像としては、里地里山・森林、ニュータウンを含む郊外部、既成市街地、ウォーターフロントという4つのエリアで考え方を示しています。

施策の展開としては、里地里山・森林の保全・育成・活用、まちの緑や公園・街路樹の有効活用、多様な主体とともにみどりを支えるの3つの観点に基づき施策の展開をしてまいります。

4. 今後のスケジュールにつきましては記載のとおりでございます。

続きまして、委員会資料の98ページを御覧ください。

VI 報告「神戸市みちづくり計画」の改定（案）について御説明を申し上げます。

1. 計画改定の趣旨でございますが、本計画は社会情勢や市民・利用者のニーズ、神戸の将来像などを踏まえたみちづくりの指針と5年間に於いて重点的に取り組む実行計画を定めた神戸市の総合基本計画の道路に関する部門別計画でございます。現計画の目標年次が2025年度となっていることから、このたび改定を行うものでございます。

2. 目標年次につきましては、2035年度でございます。

3. 改定の概要でございますが、（1）「みちづくりの指針」につきましては、「活かす」「つなぐ」「守る」の3本柱での取組により、全ての利用者にとって安全で快適な道路空間を目指し、社会共創によるみちづくりを進めるという指針を策定しております。

（2）各取組内容につきましては、みちづくりの指針に基づく取組やエリアごとの主な取組、新たな時代に向けた道路の取組に関して内容の更新を行っています。

（3）2030年に向けた5年間の実行計画につきましては、それぞれの取組における2030年度までの目標を策定しております。

（4）「神戸市自転車活用推進計画」を自転車編としての統合につきましては、神戸市自転車活用推進計画を改定し、自転車編として統合をいたします。

4. 今後のスケジュールにつきましては記載のとおりでございます。

続きまして、委員会資料の143ページを御覧ください。

VII 報告「市立自転車駐車場のあり方検討委員会」の中間報告につきまして御説明を申し上げます。

1. 趣旨でございますが、本年5月に市立自転車駐車場のあり方検討委員会を設置し、今後の駐輪場の在り方に関して利便性や持続可能性、まちづくりへの寄与など多角的な視点から議論いただいているところでございます。

2. 委員会開催状況につきましては記載のとおりでございます。

3. 現在の検討内容でございますが、まずは自転車駐輪場の現状と課題の確認を行った上で、次の3つの視点を柱として議論いただいております。

視点の1つ目は、駐輪場の有効活用として、近年、多様化する利用者ニーズへの対応でございます。視点の2つ目は、まちづくりへの貢献として、都市景観の向上でございます。視点の3つ目は、持続可能性として、将来を見据えた管理運営手法の確立でございます。

4. 今後の方針でございますが、今年度末までに答申を出していただく予定でございます。

続きまして、委員会資料の145ページを御覧ください。

Ⅷ報告、2億5,000万円以上5億円未満の工事請負契約の締結の件についてでございますが、1、令和7年9月1日から9月30日までの期間における当該契約は、布引公園（加納）法面防災対策工事ほか2件でございます。

以上で議案4件、陳情1件、報告4件についての御説明を終わります。何とぞよろしく御審議のほどお願いを申し上げます。

○委員長（平野達司） 当局の説明及び報告は終わりました。

これより質疑を行います。

まず最初に、予算第23号議案令和7年度神戸市一般会計補正予算のうち建設局関係分に関して御質疑はございませんでしょうか。

○委員（朝倉えつ子） まず繰越明許費の中の山田町公園の整備についてちょっとお伺いをします。

資料も頂いたんですけども、頂いた資料では昨年から来年度3か年かけて、これからできる予定の公園の進入路と上下水道を整備するというようなことになっています。それで、ただこれ1995年に都市計画ができて2019年度から地元との調整、その間もかなり時間がかかっているなどという感じなんですけど、公園本体の用地買収も96年と、都市計画できて翌年に公園の土地が買収できたと。ただ、進入路の用地は2025年ということになっていて、それぞれ時間がかかっている計画なんですけども、何か理由といたしますか、お聞かせいただければと思います。

○奥野建設局公園部長 今委員から御質問ございました山田町公園でございますが、この議案でいいますと、繰越明許費の中で公園緑地整備費、公園整備1億3,000万円、今回繰越しの御審議いただいているわけですが、この1億3,000万円の一部が北区の山田町公園に係る工事費の繰越しでございます。

山田町公園につきましては、今委員から御指摘のあったように1995年に都市計画決定を行っております。

この山田町公園でございますが、いわゆる我々CCPと呼んでますが、田園コミュニティパークということで、主に調整区域の農村区域に、地域住民の交流、スポーツ、レクリエーションの拠点となる都市公園ということで、1つの町に1か所ということで今整備を進めてきております。

1990年代にそういう考え方を導入して順次整備をしてきておりまして、今順次整備を進めてきております。市内北区でいうと4か所、西区でいうと6か所、合計10か所の公園を順次整備をしてきておりまして、この山田町について順番的には一番最後といたしますか、後半になってきているわけでございますが、この間2019年以降、地元の方々とワークショップを開いたりイベントー

ーパークマーケットといいましてイベントを開催したり、そういう地元の機運醸成ですね、あとアンケートを取ったり、何よりも地元の方々といろんな協議、どんな公園にしようかというそういった丁寧な議論を進めてきました。結果、今の時期に工事に至っているそういう状況でございます。

以上でございます。

○委員（朝倉えつ子） イベントとかアンケートされているというのを私も聞いて、地元の皆さんも何か桜植えてほしいわみたいな意見を上げたわみたいなことを言うてはったんですけど、農村地域におけるコミュニティー活動の活性化と、地域住民の交流レクリエーションの拠点となる都市公園ということでは、計画が決まって地元調整までかなりありますけども、地元の協議も始まっていると。合意大前提になる計画にしないといけないというのは思うんですけど、どんな協議が具体的にされているのかというのをお聞かせ願えますでしょうか。

○奥野建設局公園部長 やはりこの公園、地域の拠点となる公園ということで、アンケートを取った結果、運動ができるあるいは遊べる、高齢者も子供ももちろん一般の大人も——そういった運動とか体を動かすというそういう視点で整備してはどうかという状況でございます。

これ県道から約200メートルの進入路を経て、従来農地であったところを造成して公園とする予定でございます。そういったまとまった広場とか、コミュニティーの拠点となるような拠点施設、あるいは園路ですね、周回できるジョギングとか散策できるような機能を持っているそういったしつらえの公園に今設計を詰めているところでございます。

以上でございます。

○委員（朝倉えつ子） 私も現地を見させていただいて、まだ本当は田んぼ・畑がずっと続く先に公園ができるイメージなのかなというふうに見てきたんですけど、実際地元の方からは確かにアンケートもやったねと、イベントもやってるねと。だけど何かその進み具合もよく分からないというような意見とか、あまりよく知らないという方もいらして、進入路の工事についても聞くとところによると、刈り稲の時期が終わってから後にしてくれというふうな要望もあったというふうにお聞きしたので、やっぱりなかなか今の農地を保全しながら、緑地も保全しながらそこを開発をとというか、公園造っていくわけですから、なかなか大変なのかなという気もするんですけど、地元の皆さんが運動できる交流できる確かにそういうスペース欲しいというのはあるかもしれないんですけど、ぜひいろんな意見を酌み上げて、年月かけて丁寧にやっていただいていると見るのかもしれないんですけど、皆さんの総意でやっぱり進めていただきたいと思うんですが、最後その点はいかがですか。

○奥野建設局公園部長 委員今おっしゃっていただいたような考えで進めていくつもりでございます。

この周知については山田町のいろんなまちづくり組織とか、山田出張所を中心にいろんな媒体——特にチラシですね、リーフレットを作って公園の今の作成状況をPRしたり、確かに長年お待たせしたわけでございますが、今県道からちょうどローソンがあって、その隣から横のところから進入路の工事がもう目に見えて進んでおります。いよいよ予算を今後しっかりつけていただければ来年度以降、公園本体の工事にも入っていくということでございます。できるだけ早期に公園を完成させていきたいとこのように考えております。

○委員（朝倉えつ子） 北区は広く緑地を保全する地域ということで神戸市もちゃんと指定をしている地域だと思いますので、それを進めつつも、やっぱり地域の皆さんにとって地域活性化にな

るような、皆さんの本当に交流の拠点となるような計画になるようにということを求めています。

○委員長（平野達司） 他にございますでしょうか。

（なし）

○委員長（平野達司） それでは次に、予算第25号議案令和7年度神戸市駐車場事業費補正予算について御質疑はございませんでしょうか。

○委員（朝倉えつ子） 駐車場の管理について来年度4月から指定管理の変更もあるところがあるんですけども、先ほども伺ったように、いろんな駐車場条例の改定もされて、利用料金制に変更するという事です。

私たち会派は駐車場の利用料金の上限が条例で定められてるんですけど、改定の際にこれが引き上げられると、上限を引き上げるという条例だったので、私たち会派は反対をしたんですけども、来年度から指定管理で一部決まっていなかったところもあるということですけど、現行の利用料金から値上げが実際提案されているというところはあると思いますか。あればどこか、教えていただきたいんですが。

○畑中建設局駅前魅力創造課部長 料金に関してはまだ決まってはなくて、今指定管理候補者から料金の提案を受けているような状況でございます。

今委員のほうから御指摘がありましたどの料金が今より上がるのかという御質問に対してなんですけども、まず1つ目は三宮駐車場が、条例上なんですけども、今現状よりかは上がるような感じになってございます。同じく花隈駐車場なんですけども、これも条例の範囲内なんですけども、今現状よりかは上がるような状況になってございます。

あともう一つ、舞子駅前駐車場、これに関しまして1日上限料金なんですけども、これが今現状の条例よりかは超えているんですけども、今指定管理候補者から提案という形で上がっているような状況でございます。

以上でございます。

○委員（朝倉えつ子） 今まで議決してないので、これから事業者からこういう提案があるよということなんですけども、今回駐車場の指定管理者応募要項を見ますと、8ページに利用料金のところで現在の使用料を参照の上、利用状況を踏まえて提案してくださいと、今答弁あったように三宮・花隈・舞子駅前ということで提案があるよと。今挙げられたところはいずれも黒字の駐車場だと。資料頂いていますけども、利用台数も増えてるところだということなんです。

それで、市が指定管理者制度の趣旨として挙げている住民サービスの向上であるとか、本来は今の現行の使用料を参照の上、利用状況を踏まえて提案してくださいというふうにあるんですけども、こういう状況も鑑みてとあるんですけど、経費の節減等を図ることが指定管理者制度の趣旨でも市は挙げられてるんですが、これからのかけ離れる提案になってるんじゃないかなと思うんですけど、いかがでしょうか。

○畑中建設局駅前魅力創造課部長 まず1つに条例の改正なんですけど、これ実は今年の予算市会のほうで条例改正しております。それが三宮駐車場と花隈駐車場なんですけども、なぜ料金を上げたのかといったことなんですけど、実は道路法に基づきまして、付近の路外駐車場の駐車料金に比べて著しく均衡を失しないような形でしなさいということがきちっと規定されております。それを受けまして、神戸市でも2年に1回周辺駐車場の調査を行いまして、料金格差を是正する必要があるかというのをきちっと調査しておるような状態です。

まず、三宮駐車場の状況を申しますと、条例改正前の料金に関しましては1時間当たり400円

という形で決めておりました。先ほど申しましたように2年に1回の調査をさせていただきましたところ、三宮駐車場周辺では駐車台数10台以上で約53か所の駐車場が該当しておりまして、平均の駐車料金調べてみますと1時間で545円という形になってございました。そこで三宮駐車場に関しましては1時間当たり料金を500円という形で定めて、昨年の予算市会の中で上程させていただきましたまして議決をいただいたといった次第でございます。

また、花隈駐車場に関しまして、条例改正前の料金に関しましては1時間当たり400円という形でございました。これも同様に周辺駐車場の料金調査いたしますと、平均525円だったということでございます。これに関しまして、駐車台数10台以上で37か所の駐車場を調べたわけでございますけれども、こういった状況でございましたので、花隈駐車場に関しても昨年の予算市会の中で1時間当たりの料金を500円ということで定めたといった次第でございます。

もう一方、条例を超えたもの、今回指定管理者候補者が挙がってきたわけなんですけれども、先ほど委員からありました応募要領の中の8ページの中に確かに料金の指定はございますが、16ページの中に条例を超えて料金を提案することは可能だといった条件づけがされております。それに基づきまして今回候補者が料金を提案してきたわけでございますけれども、当然ながらそれをそのまま私も条例を超えておりますので認めるわけにはいかないといった状況でございます。

条件を3つほどこの応募要領の中にもつけてございまして、1つ目としては受益と負担との関係や類似施設などとの均衡、本市財政負担等について考慮して検討する必要があるのかどうか、いわゆる妥当性についてきちっと私どもとして判断していく必要があるということが1点。

2点目に関しましては、当然条例を超えておるものが提案されておるわけでございますので、議会の議決を経る必要があると。必ずしも提案内容どおりの料金の実現されてはないということをきちっと明記しております。

3点目ですけれども、現行の上限額をそのまま利用料金とする場合と上限額以外の料金を設定する場合、両方必ず提案してくださいと、こういう条件の下で指定管理者の候補予定者からは提案をいただいているような次第でございます。

以上でございます。

○委員（朝倉えつ子） いろいろおっしゃいましたけれども、結局利用料金制にすることと併せて利用料金の上限引上げが提案もされて、利用料金値上げの前提の指定管理の公募と言えると指摘をします。

それで、やっぱり住民サービスの向上というのが市の役割ですから、そこを発揮せよということと、そもそも指定管理者制度そのものについては何年間で指定管理が変わると、またそうすると雇用も切れてしまうと。管理や運営を民間に競わせるということで、できるだけ経費なども安く抑えられると。そこに働く方の労働条件や賃金が安く抑えられるということで非常に問題があるということで、これまでも私たち会派は指摘をしてきました。

市民負担となる利用料金前提となっている今回の議案には賛成できないということを述べておきます。

○委員長（平野達司） 他にございますでしょうか。

（なし）

○委員長（平野達司） それでは次に、第91号議案指定管理者の指定の件（神戸市立三宮駐車場ほか）について御質疑はございませんでしょうか。

（なし）

- 委員長（平野達司） それでは次に、第97号議案都市計画道路須磨多聞線（西須磨）整備事業に伴う跨線部の上部工架設工事及び設計業務に係る変更基本協定締結の件について御質疑はございませんでしょうか。
- 委員（朝倉えつ子） 須磨多聞線なんですけれども、今回契約金額が上がっているんですけど、これなぜこんなに上がっているのかというのをもう一度お聞かせください。
- 武田建設局副局長 このたびの協定で金額が変わっている主な理由ですが、1つには近年の物価高騰という要素が1つございます。それからもう1つは、本協定の中では設計と施工を委託するという事になってるんですが、その設計を山陽電鉄が詳細設計を進める中で架設時に桁を仮に支える支柱を造るんですけれども——仮の支柱をですね——ベントと言われるものですが、その基礎形式を直接基礎からくい基礎に変更する必要性が生じたということ。それから、施工時に架設中に桁が落下するようなことがあってはならないというその辺の詳細を詰めた結果、落橋防止のための鎖でつなぐようなものなんですけれども、そういったものをつける必要性が生じたということで金額が上がってございます。
- 委員（朝倉えつ子） 今、仮の支柱をずっといろんな対策が必要なんだと言うんですけど、これは全国的にもやられてるようなものなんでしょうか。
- 武田建設局副局長 架設時にベントという仮の支柱を置いて架設するという方法はごく一般的な手法でございます。
- 委員（朝倉えつ子） 方法はそうなんですけど、方法ではなくて、今回のように安全対策を強化するということですよ。そういう事例は、今回と同じような事例をやっているところはあるんでしょうか。
- 武田建設局副局長 事前に少しお聞きしておりましたので、いわゆる跨線橋、鉄道を越える橋梁を建てる際の事例というのは見つからなかったんですけども、高速道路を越える事例ではこういった安全対策を強化してやるという事例は見つかってございます。
- 委員（朝倉えつ子） 今回聞いていると南海トラフなんかでも対応するような対策だということで、事業者から安全対策だといろいろ言われたら仕方がないと言われるのかもしれないんですけども、須磨多聞線そのものについて、やっぱり本当にこれまでも地域の地元からいろんな声が上がって、大型車両も含めて交通量の増大、渋滞の懸念とか、いまだにその問題が払拭されるような報告がないというのを地元からも聞いていますので、本当にそういう住民の声を受け止めて、本当に何でも莫大なお金をかけて迅速にやるべきではないということを述べておきます。
- 委員長（平野達司） 他にございますでしょうか。
（なし）
- 委員長（平野達司） それでは次に、陳情第165号神戸総合運動公園・補助競技場及びしあわせの村・多目的運動広場の運用の適正化に関する陳情について御質疑はございませんでしょうか。
- 委員（住本かずのり） まず、陳情人の項目のある1つ目なんですけど、神戸総合運動公園とかしあわせの村多目的広場の一般枠ってそんなに少ないものですか。年間どれぐらいで応募倍率はどれぐらいあるのか、ちょっと教えていただけたらと思います。
- 奥野建設局公園部長 一般利用に関しましては、まずユニバー記念競技場のサブ競技場でございますが、月平均に直しますと1回から2回程度、しあわせの村の多目的広場に関しましては、月平均4日程度でございます。
- 年間の日数でございますが、令和5年度の実績ですが、なぜ6年度じゃないというのは、6年

はちょっとパラ陸上があつてかなり変則的な利用形態でございましたので、2年前で申し訳ないんですが、5年度でございますが、一般利用枠が年間で総合運動公園の補助競技場が15日、それからしあわせの村の多目的運動広場が51日となっております。

以上でございます。

○委員（住本かずのり） 分かりました。了解しました。

もう1点、陳述人が言ってます芝生の養生期間が延べ年間6か月ほど——半年ほどかかるというこれは事実かどうかと、なぜそんなにもしかかるとすれば理由を教えてください。

○奥野建設局公園部長 まず、このユニバーの補助競技場、それからしあわせの村の芝生フィールドともに、やはり高質な芝生管理ということをさせていただいております。年間を通じて緑の芝生を維持して各種競技会、特にレベルの高い大きな競技会にも対応した芝生を管理しているというそういう意味では普通の公園の芝生とは全然質が違う形です。

夏芝と冬芝、年2回全面張り替えをしております。春頃に冬芝から夏芝への張り替えということで約1か月閉鎖いたします。それから秋頃に夏芝から冬芝への全面張り替え、これも1か月張り替えいたします。これで全面張り替えで約60日、全面的に使用を停止する状況でございます。

それとは別に、週3日ないし4日、これは芝生がメンテナンスといいますか休める期間、薬剤をまいたりそういった手入れの期間も含めますが、そういったことで週の今申し上げた日数にしましては利用を停止といいますか、やっております。

逆にそれ以外の日で、特に土・日については、ほぼ季節によっては毎週いろんなスポーツ行事が入っております。市の大会や地域の行事、そういった行事でございますので、結果一般利用が先ほど申し上げた少し少ないといいますか、先ほど申し上げたような日数になっている次第でございます。

以上でございます。

○委員（住本かずのり） 了解しました。高質な芝生管理で冬も緑で維持するには、やっぱりそれぐらいの期間かかるということ。一般の公園は多分和芝なので、張りっ放しやったら勝手に冬枯れて春また芽を出して緑になるので、年間の回数は多くなると思うんですけど、理由は分かりました。

次に、条例に基づいて優先確保を明確にしているとの答弁で、指定管理のミズノは義務づけた目的を達成するためにサッカー教室をしていると。子供たちのためには必要だと思うんですけど、許可基準のどの項目にこれは該当するのか、ちょっと教えていただきたいと思います。

○奥野建設局公園部長 神戸市のほうで都市公園・有料公園施設の利用許可基準というのを設けております。その中で神戸市が行政目的のために行事に利用することということでございます。

総合運動公園、しあわせの村ともに指定管理公園でございます。指定管理者を募集するに当たって神戸市のほうから市民スポーツ、市民の健康、レクリエーション、そういった活性化に資する行事を行ってくださいということで、条件ではないんですが、応募の義務づけといいますか、そういったことをお願いしております。

それに基づきまして、指定管理者のほうが提案、例えばこのユニバーの補助競技場でいいますと、サッカー教室や陸上教室、それから障害者の陸上教室、そういった市民向けのスポーツプログラムを提案してきております。そういったものは優先的に使っていただく対象としております。

以上でございます。

○委員（住本かずのり） これも許可基準に該当して適切だということですけど、ちょっと市民に

やっぱり分かりづらいと思うので、ここはちょっともっと明確化して、市民にこういう許可基準に該当するので、これは優先して使いますよということはもうちょっと明確化する必要はあると思います。

あと最後なんですけど、委員会を開催して事前に優先順位を、大会を決めていると答弁ありました。

この陳述人は市議員後援会は優先枠だということで、これは違うということだったんですけど、なぜこれ勘違いするほど市議員後援会は多く利用しているのか、またこれは勘違いなのか、ちょっとこの辺教えてください。

○**奥野建設局公園部長** 先ほどの局長からの陳情に対する神戸市の考え方で申し上げましたが、まず市議員後援会に対して特別利用を認めているケースはございません。あくまで一般利用として申し込んでいただいている、使う場合でもそういう形になろうかと思います。

陳述者の方のそういった御意見、ちょっと我々のほうではどういう経緯でそういう御意見になったのかというのは承知しておりません。

以上でございます。

○**委員長（平野達司）** 他にございますでしょうか。

○**委員（朝倉えつ子）** 私からも。

陳情者が言われているような何か恣意的な優遇はなかったということで答弁あったんですけど、本当に今、住本委員も言われたんですけど、もっと分かりやすい予約の在り方とか、何かしおりとマニュアルとか、利用者の皆さんにきちんとお示しをするべきじゃないかなというふうに思うんですが、その点は何か工夫をするようなことはありますか。

○**奥野建設局公園部長** まず、一般利用の方に関しましては利用月の2か月前の1日から10日に受付を行いまして、その後、抽選で利用者を決定しております。これについては各施設のホームページや主にあじさいネットでの申込みが多い状況でございますが、お知らせをしております。

それから、それに先立つ優先的な特別利用に関しましては、今それぞれの総合運動公園とかしあわせの村とか、そういうそれぞれの施設の窓口で問合せがあったり来所されたときには、そういう基準についてお知らせしております。

ただ、やはり委員御指摘のとおり、市民の皆様にも御理解いただけるようにということでございますので、今後どのようなことができるか検討していきたいとこのように考えております。

以上でございます。

○**委員（朝倉えつ子）** 例えば資料頂いたAとかは、かなり前にも年間スケジュール決められると。それ以外の方たちも大体B、C、Dというのも1年前ぐらいまでには大体年間契約として決まると。それ以外の方たちというのが2か月前ということだけになると、陳情を出されてる方、結構年間計画的に大会をされてるみたいなので、もうちょっと何か2か月前というのは幅があったほうがいいのかと思うんですけど、そんなことは考えられないのか——例えば半年前とか——せめてというのは駄目なんですか。

○**奥野建設局公園部長** まず、グラウンドゴルフできる場所というのは市内一円にたくさんいいですか、一般の公園から今回のようなかなりグレードの高い芝生フィールド、その間の総合運動公園でいいかと、ほかにもグラウンドゴルフできる——土ですがありますし、しあわせの村でいいかと、すずらんゴルフ場の併設するグラウンドゴルフのコースもございます。

今回の話題になっている補助競技場、ユニバーのサブ競技場、それからしあわせの村の多目的

広場でございますが、やはり今申し上げたような高質な芝生、トラックも含めてですが、競技会向けに管理我々させていただいています。ということで、まずは前年の秋に神戸市文化スポーツ局が主になって、翌年の例えば全国大会につながる市の大会とかあるいは県の大会とかあるいはプロの大会、Ｊリーグ、最近はノエビアスタジアム中心になってますが、ユニバーとかそういったメインでやるときのサブも一体で使うケースもございます。

そういったことで、前年の秋にやっぱりこれ晴れ舞台でございますので——この競技場いうのは——やはり大きな大会をまず優先で前年の秋に決めさせていただくと。結果ほとんどの土・日が埋まっております。ほとんどといいますか、かなりの割合で埋まっております。その次にやっぱり市民の大会ですね、小さい大会、地元の行事、そういったものは３か月前に第２段階の特別利用ということで予約を受け付けさせていただいております。その結果、空きに関しましては一般利用ということで、前々月の１日から１０日に受け付けて抽せんの上決定すると。さらに空きがあれば先着順で受け付けると。こういった形が一番この施設の実態に合った予約形態になっているのかなというふうに考えております。

以上でございます。

- 委員（朝倉えつ子） 何か工夫ができないかなと思うんですけど、その方たちにこうやったら何か要件に合うようになりますよというような何かアドバイスもあってもいいのかなと、ちょっと分からないですけどいいかなと思います。

それでもう１つ聞きたいのは、指定管理受けてるミズノが自主事業でやられているサッカー教室の事例挙げられているんですけど、お聞きしたら週２回で今年度７０人ぐらいの参加が毎月あるということで、確かにそれによって利用したい方ができない状況はあると言えるのかなというふうに思うんですが、いかがですかというのもおかしいんですけど、そういう状況があるというふうに私は思うんですけど、どうお考えでしょうか。

- 奥野建設局公園部長 ミズノサッカースクールに関しましては、ちょっと先ほどの局長からの市の考え方についても御説明させていただきましたが、あくまで指定管理者、総合運動公園グループということで今年度から新たな指定管理者の期に入っております。その構成員、代表企業は神戸市の公園緑化協会でございますが、その構成員数で構成されております。ミズノの会社に関しましては、その一構成員でございます。その構成員が自ら主催者となってサッカースクールとか陸上教室とかそういったことを市民向けスポーツプログラムとしてやっていただいておりますので、これについてはしっかり人数、参加者も頑張って増やしていただいて、しっかりした体制で運営していただきたいとこのように思っております。

これに関しましては、我々の利用基準におきまして優先利用の対象としておりますので、神戸市としてもそれはしっかりとバックアップしていきたいなとこのように考えております。

以上でございます。

- 委員（朝倉えつ子） ミズノは大きな会社ですから、私たち公共施設そのものの指定管理の在り方、民間に任せる在り方も指摘をしてきたんですけども、今回利用したい人にとってみれば制限かけられてると思われても仕方ないのかなというふうにも思います。

いずれにしても本当に市民の皆さんが利用できる日数を増やせるようにということで、先ほども芝生の養生の在り方なんか検討しておっしゃったんですけど、本当に市民の皆さんの利用拡大に向けて市としても努力をしていただきたいということを求めています。

- 委員長（平野達司） 他にございますでしょうか。

○委員（上原みなみ） まず、例年の芝生の養生期間というのが年間大体60日ぐらいとお聞きしまして、それ以外で利用できない日数も事前にお聞きしますと、総合運動公園の補助競技場が120日、しあわせの村多目的運動広場が170日ぐらいというふうにお聞きしました。

ただ、その期間中であっても、ミズノスポーツサービスの主催のサッカー教室は行われているというのは事実だと思うんですけども、それは何日ぐらい使用されているのでしょうか。

○奥野建設局公園部長 先ほどから申し上げているように、ミズノが一企業としてやっているというよりも神戸市からの指定管理業務の一部として行っている状況でございますが、芝生の養生を行っている期間中でも部分的に芝生の養生が終わっているとか、あるいは使ってもいいであろうということで判断した場合には、もともとミズノサッカースクール、芝生養生期間中は土の他の場所、公園内でございますので、そこでサッカースクールする予定でございますが、芝生の養生が大丈夫という場合、芝生広場、芝生フィールドを使うケースがございます。その日数については、あるかないかというところとあるということでございますが、日数については今我々の状況で把握しておりませんが、そういった状況でございます。

以上でございます。

○委員（上原みなみ） それまでの別の場所で土のところで練習しているとか、サッカー教室が行われているというのだったらいいんですけども、使用禁止にしている芝生の上で、しかもグラウンドゴルフよりももっと芝が傷むと思われるサッカーの教室が、一部であってもやはりサッカー教室するとなるとフィールドがかなりの広さ要りますので、そこを使っているということは非常に整合性がないと思われそうですが、その点いかがでしょうか。

○奥野建設局公園部長 委員の御指摘、一定私も理解できるんですが、まずそういった場所を予約するに当たって一般公募の予約をしております。そういった形である日、芝生が使っていないということであっても直ちに募集を開始できないというそういった事務的な事情もございます。もちろん芝生の養生が最優先でございますので、芝生の養生に影響のないというそういう範囲で今サッカースクールが開催されている状況でございますので、その辺はちょっと御理解いただきたいというふうに思っています。

以上でございます。

○委員（上原みなみ） 誰も理解しないと思いますよ、一般の人たちは。やはり陳情者がおっしゃるとおり誰が見ても不公平に見えてしまいます。

ですので、サッカー教室で利用をされるんだったら、利用ができるんだったら、一般にも公開すべきだと思いますし、そこは今後禁止にするなら、やはりサッカー教室も別の場所でやってもらう、そこは徹底すべきだと思いますがいかがでしょうか。

○奥野建設局公園部長 その辺につきましては、また今後今の施設管理者、指定管理者とも協議しながら、今後どういうやり方が一番いいのか検討していきたいというふうに考えております。

○委員（上原みなみ） ぜひ、やっぱり一般市民の目線というのを考えていただきたい。やはり不公平というのはよくありませんので、市の施設ですので、指定管理者であれ、やはり不公平な使い方をされるというのはよくありませんので、必ず是正していただきたいと申しておきます。

○委員（香川真二） すみません。ちょっと一言というか1つだけ質問なんですけど、一般枠が15日とか51日って令和5年の実績であったと思うんですけど、応募状況はどんな状況だったんですかね。

○奥野建設局公園部長 ちょっと今手元に応募状況の倍率までは把握しておりませんが、そう倍率

は高くない、抽せんなしとかあるいはさらに誰も申込みがなかったとか、そういう枠もございません。抽せんした場合もございます。ちょっとすみません、具体的な今数値は持ち合わせておりませんので、また改めて御報告させていただきます。

○委員（香川真二）　ありがとうございます。

公園なのでね、私も小っちゃい頃教わったんですが、公園は仲よく使うようにというふうに——みんなでということが一番望ましい形だなと思いますので、例えば時間がどういうふうに区切ってるか分からないですが、半日で区切ってるのか、1日で区切ってるのか、例えば時間貸しで1時間ごとに区切ってるのかとかそういうので、例えばサッカー教室でも長くても1時間、小学生だと2時間ぐらいまでやとは思うんですね。そしたら空き時間が出るじゃないですか。そういうのをうまく使えるとか、あとは1面使わなくても半面とか、4分割で使えるよとかいうのであれば、使える人がもっと増える、枠が増えるんじゃないかなと思いますので、みんなで仲よく使えるような形を模索していただきたいなと思いますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（平野達司）　他にございますでしょうか。

（なし）

○委員長（平野達司）　それでは次に、報告事項「神戸市みどりの基本計画」の改定（案）についてに関して御質疑はございませんでしょうか。

○委員（香川真二）　質疑じゃないですこれ、意見。ちょっとお伝えしたいなと思うんですけど、最近いろんな都市行くと、私たち行くとき大体大きな駅に到着するじゃないですか。そのときに感じるのが駅の——主要駅の近くに結構緑が増えてるなというのがあって、これ最近まちづくりのトレンドなのかなと思うんですね。昔だったら一等地というようなところであれば、ばんとビルが建ったりとか、そういう商業目的に使われてることが多かったんですけど、緑が増えて、この間ちょっと大分行ったときにも大分の駅の裏側にも公園がすごい整備されてて、そこを見ると何というか、まちの上質感というか、ぜいたくな使い方をしてるなというふうなので、そのまちの印象というのがよくなるんですね。

私たちたまにポスティングとか、いろいろまちを歩くときにも感じるのは、家の中というのはなかなか見ることできないですけど、外構って目に触れるじゃないですか。外構がすばらしく整ってるところを見ると、どんな人が住んでるのかなとか、何かそういうふうにちょっと印象よくなるんですね。

だから、例えばまちも同じかなと思って、駅についたときにばんと緑があって緑地があって、そこに何かいろんな人が活動してる風景が見えると印象がすごくいいので、ぜひ頑張ってくださいということを伝えたかったです。

以上です。

○委員長（平野達司）　他にございますでしょうか。

（なし）

○委員長（平野達司）　それでは次に、報告事項「神戸市みちづくり計画」の改定（案）についてに関して御質疑はございませんでしょうか。

○委員（細谷典功）　すみません。事前に言ってなかったんですけども、113ページの渋滞箇所の解消というところです。

たまたま昨日、山陽バスの運転手さんとお話しする機会がありまして、ここの垂水区の小東山6丁目から垂水警察前に至る多聞小寺線ですかね、こちらの渋滞が最近非常にまた——従来から

渋滞しておりますけども、ひどいという話をお伺いしました。バスの運行にも——山陽バスさんですけども、161系統ですか、支障が出るぐらい最近ひどいということをお伺いしておりますけれども、ここはアプリで渋滞カレンダーとか、小東山6丁目にはリアルタイムカメラとか設置されているのは承知してるんですけども、根本的な渋滞対策ですね。ハード面とか、右折レーン延ばすとか、そういった対策というのはどのように検討されていますでしょうか。

○**原建設局長** 小東山の渋滞でございますけれども、これ過年度から本当にもう何をしたらええかというようなことで取り組んできてございます。交差点に北から南進して入ってくるところにつきまして、左折の専用レーンを設置したりとか、あと右折需要もかなりございますので、右折レーンを延伸したりとかというような取組を行ってまいりました。

それから西へ参りますと、神戸西バイパスの側道部分ですね、これ国が管理する国道2号なんですけども、国道事務所のほうでも様々な右折レーンの設置でありますとか、取組をこれまでしてきたところでございます。

ハード整備と併せて、やはり周辺の店舗に集中する車が課題になっているのかなということで、そういった方々を集めまして、何か対策ができないかというようなことで、やはり駐車場の呼び込みというのか、吸い込みを円滑にしていく必要があるということで、例えば従業員用の駐車場を隔地に設けて繁忙期にはお客様用に転用するとか、駐車場の中のオペレーションでも工夫が何かできないかというようなことを日々ちょっと協議会みたいな形で取り組んでいるところでございます。

このたび国道のほうで今度小東山交差点に西から東進して入っていく際の——あと学園南のランプから下りてくるオフランプの車両との関係がございまして、そこの改良みたいなことも今取り組んでいただくことにしてございます。

そういったことも含めて様々なハード・ソフト織り交ぜて、何ができるかというようなことを引き続き検討してまいりたいと考えております。

○**委員（細谷典功）** よろしくをお願いします。

○**委員（香川真二）** 私小東山はよく使うので、ぜひ渋滞解消していただきたいんですけど、ちょっと意見だけ言っておきたいんですけど、これを作られた方のデザインの感覚はすばらしいなと思って、この週末ちょっとぺらぺらと見てたんですけど、物すごく見やすいですね。ちょっとあまり言いたくないんですけど、みどりのほうのやつ次だったからかも分からないんですけど、見やすく、例えば本当にデザインって大事だなと——人に伝えるときの——と思ったので、みどりのほうもぜひこうやってちょっとデザイン、これ文字が多いのでデザイン変えていただけたらと読みやすくなるのかなと思いますので、こうやって伝える努力をしていただけたらというのはすごくありがたいと思いますので、今後もよろしくお願いいたします。

以上です。

○**委員長（平野達司）** 他にございますでしょうか。

（なし）

○**委員長（平野達司）** それでは次に、報告事項「市立自転車駐車場のあり方検討委員会」の中間報告について御質疑はございませんでしょうか。

（なし）

○**委員長（平野達司）** よろしいですか。

それでは次に、報告事項、工事請負契約の締結についてに関して御質疑はございませんでし

うか。

（なし）

○委員長（平野達司） よろしいですか。

それでは次に、この際、建設局の所管事項について御質疑はございませんでしょうか。

○委員（朝倉えつ子） 2つあるんですけど、1つは王子公園の整備に関わって、今スタジアムの解体工事が12月からもう始まるんですかね。工事の出入口改修なんかも含めたら11月の半ば頃からやられてるんですけど、地域の方から樹木伐採についてちょっと要望がありましたので伺います。

スタジアムの周りにもいっぱい樹木が植わっていて、そこにアオサギがたくさん巣を作るんだと。ちょっと調べると、アオサギというのは年明けぐらいから巣作りを始めて巣立っていくと、春頃が繁殖期になるということなんですけども、まさに今始まろうとしている樹木の伐採をせめて巣立つまで見守ってほしいというのが地元の方の願いなんですけど、これをちょっと要望したら建設局からも返事が返ってきてはいるんですけど、巣がないのを確認したらそこは切る——言い方は悪いんですけど、巣があれば見守るけどなければと言うんですけど、これからなんですよね。

だからもうちょっとせめて待っていただいて、樹木伐採については延期していただけないかなというのが要望なんですけど、いかがでしょうか。

○原田建設局王子公園再整備本部長 王子公園の周辺樹木に関するアオサギの営巣でございますけれども、現在御指摘のとおり、大学に土地を引き渡した範囲内の樹木に関しては、関学サイドのほうで調査を行い、営巣は確認されておりません。それといいますのも、営巣時期が大体いろいろ文献にもよるんですけれども、2月、3月から9月の間の100日ぐらいで巣作りを行って、それから巣立つ期間とされております。

アオサギですけれども、レッドデータブックに載ってるようなそういった希少種では決してございませんけれども、全国に一般に分布する鳥ではございますけれども、やはりまちの中の公園にああいった1メートル近くの大きな鳥が巣を作ったり子育てをしている姿というのは、地域の方にも一定親しまれているという存在でございますので、そのあたりは十分配慮した形で今後工事のほう進めていきたいと考えておりますけれども、やはりどうしてもスケジュールの関係で伐採は必要になりますけれども、実際巣があれば、それはちょっと温かく見守って、巣だった後に必要に応じて伐採するというところでございます。

仮に巣作りをする前の段階で伐採する必要が生じたとしても、アオサギはいろんなところに巣を場所を変えて巣作りをするということも言われておりますので、そのあたり、あの周辺の樹木の別の代替のところでもそのあたりは対応してくれるといいますか、巣作りをするのではないかなというふうに考えております。

以上です。

○委員（朝倉えつ子） 巣が確認できたところは待っていただけるということではあると思うんですけど、今関学はどんな建物になるのか、どんな教育になるのか決まってないというようなことを言っていらっしゃるんですよ。何学部が来るかも分からない状況で、本来であればそんな急いで解体工事をしないでもいいんじゃないかと、する必要ないんじゃないかと地元の皆さんもおっしゃってるんですけどいかがですか。

○原田建設局王子公園再整備本部長 関学のほうの工事につきましては、関学さんサイドのほうで

計画立ててスケジュールを組み立てられておりますので、それを尊重させていただいているところかと思いますが、そのあたり大学との調整窓口につきましては都市局のほうの所管になりますので、あまりここではちょっと詳しく御答弁は差し控えたいと思いますけれども、計画にのっとって着実に進められているものと理解しております。

- 委員（朝倉えつ子） 開学サイドで決めることですから、開学サイドがまだ分からないという段階で急いで解体工事する必要はないと、だから樹木伐採も含めてもうちょっと待ってくれという住民の声をぜひ聴いていただきたいというふうに改めて求めます。

やっぱり王子公園も歴史も自然も壊してしまうような計画、市民の声をやっぱり酌み上げて見直しをせよということを求めておきます。

もう1つあるんです。ごめんなさい。

事前にちょっとお伝えしてなかったんですけど、済生会兵庫県病院の新病院の候補地、今大規模開発事業計画申出書というのが三田市から出されています。その申出書を見ると、道路については敷地に面したところは市道もそして大きな道路も少し拡幅することにはなっているんですけど、救急車が入るところも別に造って、職員の方や患者さんたちが入る位置は大きな道路を渡って、神戸から来る場合はこう渡って細い市道に入るんですけど、この部分だけは拡幅がされてるんですけど、この先まだまだ細い道がずっと続いていて、鹿の子台の住宅にまでずっと続いているんですね。

こう通って遠回りをさせられることより、ここにも道路がありますので、こう入ってくることも考えると、本来であればこのずっと狭い道路を拡幅するようなことも考えるべきではないのかなと思っているんですが、建設局としての御意見をお聞かせいただきたい。そんな計画があるのかないのかも含めてちょっとお聞きしたいんですけれども、お答えいただけますか。

- 武田建設局副局長 基本的にそういう大きな自動車交通とかそういうのが発生するようなときには、道路管理者としての協議をして必要な対策を求めていくということになるわけですが、直近の最新の状況というのは私この場では把握しておりませんので、正確なことを申し上げにくいんですが、基本的にあそこは一定渋滞が発生する交差点に隣接しておりますので、救急車がしっかりといつでも入っていけるように、確実に入っていけるような構造というのを事業者のほうはまずは考えるんですが、それによって道路側に悪影響がないようにという姿勢でいろいろ協議をしているところでございます。

御指摘のあった細い道というところについて具体的に把握しておりませんが、事業者側で考える部分と不特定多数の市民に影響する部分と、基本的には不特定多数の市民に影響がないようにしっかりとやっていくという視点で協議をしておりますし、今後も進めていきたいというふうに考えております。

- 委員（朝倉えつ子） まだ開発許可申請を出される前の申出書なので、いろいろ協議をして、これから住民説明会もやって開発許可申請を出されるということになるんですけれども、本当に患者さんをぐるりと回すよりも、やっぱりこう行きたいというのは患者さん、市民の皆さんからしたらそうなるのではないかなと思うと、そしたら必要な対策とといったときに、例えばここら辺の住民の皆さんともちゃんと協議をしないとということにはなりますよね。

- 武田建設局副局長 周辺への影響が懸念される場合には、事業者のほうでしっかりと調整をさせていただくように求めていくということになるろうかと思いますが、まずは御指摘の趣旨も少し今私は理解できておりませんので、具体的なことをちょっと申し上げにくい状況にあるので、ちょっ

と申し訳ございません。御理解いただきたいです。

- 委員（朝倉えつ子） まだこれからのことで、まだ土地も買えていないので決まっていないので、これからなんですけど、そういう懸念があるということを伝えます。

統合・移転についても別段私ここ道路広げて通せという意味で言ってるわけじゃなくて、そもそもこの計画そのものに無理があるんじゃないかなと、病気の患者さんを長い距離走らせるような渋滞による影響だってあるので、新病院の土地も建設地にふさわしくないということを述べておきます。

- 委員長（平野達司） 他にございますでしょうか。

（なし）

- 委員長（平野達司） 他に御質疑がなければ、建設局関係の審査はこの程度にとどめたいと存じます。

当局、どうも御苦労さまでした。

なお、委員の皆様におかれましては、建設局が退出するまでこの場においてしばらくお待ちをお願いします。

（午前11時47分休憩）

（午前11時49分再開）

- 委員長（平野達司） それでは、これより意見決定を行います。

まず最初に、予算第23号議案令和7年度神戸市一般会計補正予算のうち、本委員会所管分についていかがでしょうか。

（「異議なし」「異議あり」の声あり）

- 委員長（平野達司） それでは、原案を承認するという意見と原案を承認しないという意見がありますので、お諮りをいたします。

原案を承認することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

- 委員長（平野達司） 挙手多数でありますので、本件は原案のとおり承認することに決定いたしました。

それでは次に、予算第25号議案令和7年度神戸市駐車場事業費補正予算についていかがでございますでしょうか。

（「異議なし」「異議あり」の声あり）

- 委員長（平野達司） それでは、原案を承認するという意見と原案を承認しないという意見がありますので、これよりお諮りをいたします。

原案を承認することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

- 委員長（平野達司） 挙手多数でありますので、本件は原案を承認することに決定いたしました。

それでは次に、第91号議案指定管理者の指定の件（神戸市立三宮駐車場ほか）についていかがでしょうか。

（「異議なし」「異議あり」の声あり）

- 委員長（平野達司） それでは、原案を承認するという意見と原案を承認しないという意見がありますので、これよりお諮りをいたします。

原案を承認することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○委員長（平野達司） 挙手多数でありますので、本件は原案を承認することに決定いたしました。

それでは次に、第97号議案都市計画道路須磨多聞線（西須磨）整備事業に伴う跨線部の上部工架設工事及び設計業務に係る変更基本協定締結の件についていかがでございますでしょうか。

（「異議なし」「異議あり」の声あり）

○委員長（平野達司） それでは、原案を承認するという意見と原案を承認しないという意見がありますので、これよりお諮りをいたします。

原案を承認することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○委員長（平野達司） 挙手多数でありますので、本件は原案を承認することに決定いたしました。

それでは次に、第99号議案灘消防署庁舎建設工事請負契約締結の件についていかがでございますでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（平野達司） それでは、本件は原案を承認することに決定いたしました。

次に、第100号議案物品取得の件（消防救急デジタル車載無線機）についてはいかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（平野達司） それでは、本件は原案を承認することに決定いたしました。

次に、陳情第165号神戸総合運動公園・補助競技場及びしあわせの村・多目的運動広場の運用の適正化に関する陳情について各会派の御意見をお伺いいたします。

それでは、まず自由民主党さん。

○委員（うえなか美貴子） 陳情165号について、自由民主党は審査打切を主張いたします。

理由は、両施設は芝生の良好な状態を維持しつつ、競技会の開催や市民向けのスポーツ教室・イベントでの利用を中心とした運営を行っており、しあわせの村の多目的運動広場においては、芝生フィールドの供用日数を増やすことにより一般市民の利用日を拡大すると努力をしていること、また施設の利用手続に関する基準について既に公正な運用を行っているという事実に基づくものであり、自由民主党は審査打切を主張いたします。

○委員長（平野達司） それでは次に、日本維新の会さん。

○委員（なんのゆうこ） 陳情第165号について、日本維新の会は一部採択を主張いたします。

1にある神戸市総合運動公園・補助競技場及びしあわせの村・多目的運動広場の一般市民の利用日を最大限拡大することについては、予約は基本的に利用月の2か月前に抽せんを行うことになっていますが、大会など特別利用の場合、都市公園・有料公園施設利用許可基準に基づき、優先的な予約や指定管理者運営のサッカー教室、芝生の養生計画などで使用できない期間が多く、実際に一般市民の方が利用できるのは月に1回から4回程度しかないのが現状です。

芝生の養生、管理期間の見直しやサッカーなど芝生を傷める競技の日数制限などの調整を図り、一般市民の利用日を増やす必要があると考えるため、1については採択を主張いたします。

また、2. 優先確保の基準の明確化及び公正な運用を行うことについては、当局の説明にありました都市公園・有料公園施設利用許可基準を設けているとのことですので、不採択を主張いたしますが、優先確保の基準の明確化をもう少し分かりやすく市民の方に公表する工夫をしていた

だきたいと要望いたします。

以上です。

○委員長（平野達司） 次に、公明党さん。

○委員（細谷典功） 我が会派は審査打切を主張いたします。

まず、本同好会の皆様が健康づくり、また認知症予防のために積極的に活動されていることに對しまして敬意を表したいと思います。

その上で、陳情項目1については、サッカーやラグビーなど芝生への負担が大きい競技で利用されるグラウンドについては一定の養生期間が必要となることは理解できるところであります。

その上で、ユニバー補助競技場につきましては現在週4日の利用としておりまして、これ以上の拡大は十分な養生期間が確保できないために難しいとの専門家の判断を了とします。

また、しあわせの村多目的広場につきましては、現在の週3日から週4日への利用日を試行的に増やすとの当局の説明を了といたします。

次に、陳情項目2の利用手続につきましては、条例及び基準が明確に定められており、優先受付、一般抽せんともに公正に運用されているとの説明を了といたします。

以上を踏まえまして、本陳情につきましては審査打切を主張いたします。

なお、市に対しましては利用者に対して運用の丁寧な説明を要望いたします。

以上です。

○委員長（平野達司） 次に、日本共産党さん。

○委員（朝倉えつ子） 公共施設は市民誰もが利用しやすいところでなければならないというふうに思います。そして陳情事項の一般市民の利用日の最大限の拡大、優先確保の基準の明確化及び公正な運用というこの陳情事項に賛同し、採択を主張いたします。

○委員長（平野達司） 次に、こうべ未来さん。

○副委員長（かじ幸夫） 我が会派は審査打切を主張いたします。

本陳情における一般利用の日数拡大については、当局の説明にもあったように一部であります。が今後試行的に供用日数を増やしていくということであって、その状況を注視したいというふうに考えております。

また、施設の優先使用に関する基準また運用状況について、こちらも当局説明にありましたように手続については明確な基準がある、厳正に運用されていると判断をしております。

よって、我が会派として審査打切を主張いたします。

以上です。

○委員長（平野達司） 次に、つなぐさん。

○委員（香川真二） 採択です。

建設局の答弁聞いてても、もう少し折り合いがつけられそうなのがあるなと思いましたので採択とします。

以上です。

○委員長（平野達司） 次に、上原委員。

○委員（上原みなみ） 1について、建設局は利用日の拡大に努めるということですがけれども、陳述のとおり芝生養生、メンテナンスのために使用禁止とされている期間に指定管理者だからとサッカー教室が行われているのは対外的に整合性が得られず、市の施設の不公平利用と受け取られると考えるので、本陳情を採択とします。

○委員長（平野達司） 以上のように、各会派の御意見は、一部採択を含め採択、そして審査打切の2つに分かれておりますが、本日結論を出すことについて意見が一致しておりますので、これよりお諮りをいたします。

まず、本陳情について採否を決するかどうかについてお諮りをいたします。

本陳情の採否を決することに賛成の方は、念のために申し上げますと、一部採択を含め採択または不採択を主張される方は挙手をお願いします。

（賛成者挙手）

○委員長（平野達司） 以上のように、本陳情の採否を決する賛成の方と反対の方が同数になりましたので、委員会条例第14条において、委員会の議事は可否同数の場合においては委員長の決するところによると規定されております。

そこで、本陳情につきましては、採否を決しないということに決定いたします。したがって、審査打切となりました。

以上で意見決定は終了いたしました。

○委員長（平野達司） 本日御協議いただく事項は以上でございます。

本日の委員会はこれをもって閉会いたします。

（午前11時58分閉会）